

NSP(南海サバイバルプロジェクト)は、南海中学校の全校生徒で取り組んでいる防災学習・活動の名称です。私たち実行委員はその中心となって、活動の計画や準備、また、校外の活動などを行っています。

今年度の目標は、『防災の“かなめ”は地域の絆』として、地域へ積極的に出向き地域の行事で活躍して、私たち中学生が、地域をつないでいきたいと考えています。

日頃から、地域とともに防災意識を高めていき、地域の未来のリーダーとして、みんなで取り組んでいきましょう。



2016年度NSP(南海サバイバルプロジェクト)は・・・

2016年度 防災教育チャレンジプラン 実践団体 認定

平成28年度 高知市こうちこどもファンド 助成団体 認定 を受けて、

さらにレベルアップさせた活動をしていきます。一緒に頑張りましょう!!

南海中学校区一斉避難訓練のお誘い



高知県では、毎年8月30日から9月5日までを「高知県南海トラフ地震対策推進週間」と定め、地震防災に係る活動の充実を図っています。そして、南海トラフ地震の発生を想定した訓練を、自主防災組織及び各関係機関が協力して実施しています。

南海中学校区一斉避難訓練

9月4日(日) 11:10～



昨年度は、避難受付証の集計の結果、877名の参加がありましたが、これは、南海中学校区の約5%程度でした。このままでは、南海トラフ地震が起こったときに、大きな被害が考えられます。一人ひとりの意識はもちろん、被害を最小限にするために、地域全体で一緒に訓練をしていきましょう。

昨年度の振り返りより(抜粋)

- ・開会式で地域の方、関係機関の方々と顔を合わせて、全員が訓練するんだと感じられたことも予行演習とは違う感じでよかった。
- ・南海中学校区で大規模にすることができたことは良かった。来年以降もこの形がよいと思う。ただ、津波浸水地域とその他の地域との温度差がある。その温度差を埋めることが課題。
- ・保育園、小学校、中学校の保護者世代の参加が少ない。学校等で保護者へ参加呼びかけを行う必要がある。また、中学校を卒業した高校生の参加が10名にも満たなかったのは残念です。
- ・非常持ち出し袋を持参している人が少なかった。・マンネリ化を防ぐように工夫をしたらよいと思う。

昨年度の反省をふまえて、今年度は、全員が**非常持ち出し袋を持って、参加**をすることになっています。家族・地域住民の方々と訓練することにより、自助のみではなくお互いに協力しながら防災活動に取り組む機会にもなります。

家族はもちろん、ご近所の方も誘って、ぜひ、参加してください。

(詳しいことは、裏面に載せています。なお、訓練中止等については、南海中学校ホームページなどで確認できます。)

